



ら各時代の特色をよく伝え、保存状態の良いものを審議会に諮問していただきました。

建造物の県文化財指定は五十六年来五年ぶりで、この八件を加え、県指定文化財は二百七十七件、建造物では二十四件になりました。

種月寺は曹洞宗の寺で、南英謙宗が、一四四六年(文安三年)守護の上杉房朝の援助によって開基したと伝えられ、岩室の豪族小国氏の保護を受け栄え、



廻廊門から本堂を望む。境内には、ギンモクセイ、キンモクセイがあり、柔らいだ趣を添えている。

種月寺本堂(石瀨)

県指定文化財に

村内では、南英謙宗墨跡書籍(有形文化財「種月寺」)、間瀬枕状溶岩(天然記念物「岩室村」)に続き三件目。



指定を受けた種月寺本堂(元禄12年=1699年建立)
種月寺は、村上の耕雲寺・塩沢の雲洞庵・村松の慈光寺と並んで曹洞宗越後四か道場の一つとして知られている。境内に一步足を踏み入れると古刹の重みと風格がわたしたちをひき込む……。

当山本堂が、文化遺産としての価値があったことを認められ、本堂にうれしく思います。これも建立以来三百年、歴代の住職が火災などの被害防止に細心の注意を払ってきたためと感じています。文化遺産にとって火災は大敵。私も先人に学び、火の取り扱いは厳しい姿勢で臨み、この文化遺産を後世に伝え守っていく覚悟です。

先人に学び 後世に伝える



(種月寺住職) 寒河江真爾さん

一五五〇年(天文一九年)には、寺僧樂崇が京都に使いを遣わし、多額の進物をささげて香衣の勅許を受けています。

村上の耕雲寺、塩沢の雲洞庵(今同時に県文化財に指定されました)、村松の慈光寺と並んで、曹洞宗越後四か道場の一つとして知られ、つねに多くの雲水(僧)が修業に励んでいたといわれます。

また、末寺も多くなりました。今回指定を受けた本堂は、今から約三百年前の元禄十二年(一六九九年)に建てられたという記録があり、昭和五十九年十一月十九日には文化庁文化財保護部建造課の調査官により、仕様など詳細に調査が行われていました。

長年の悲願がようやく



(村文化財保護 審議会委員長) 斉藤 嘉吉さん

この本堂は、全体に木柄が太く規模が大きいうえ、まともりが良く装飾は控え目ながら県下を代表する造りといわれ、それが今回の指定にもつながったのかもしれない。

県文化財指定は、種月寺にとって大変名誉であることはもちろんですが、私たち村民にとっても自慢できることだと思います。身近にこんなすばらしい文化財がある——それだけでなにかうれしくなってしまうませんか。みなさんも一度訪ね、そのすばらしさを感じてみてください。

また、下表のように村指定の文化財もあります。この機会に古くから受け継がれてきたすばらしい文化や貴重な遺産について考えてみてはいかがでしょうか……。

高島一郎前委員長のころから文化財指定を積極的に要望していたんですが、年代規定(室町期前)が合わずだめでした。しかし、今回、年代を繰り下げたおかげで指定を受けることが出来、本当によろこんでいます。

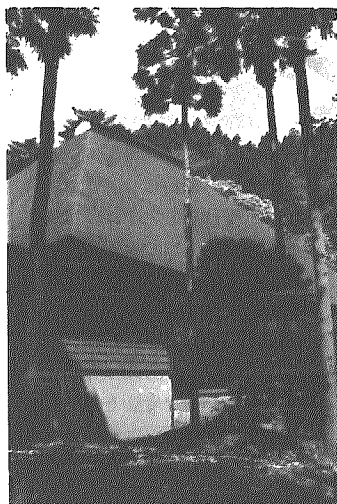
身近にこんなすばらしい文化財があるのですから、みなさんも探訪してほしいですね。

●文化財一覧

(昭和61年 5月31日現在)

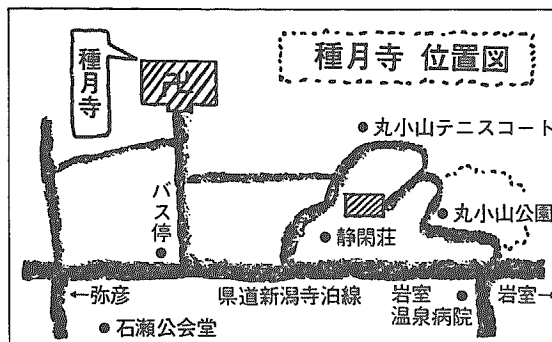
区分	番号	種別	名称	所在地・管理者	指定年月日	区分	番号	種別	名称	所在地・管理者	指定年月日
県	1	有形	南英謙宗墨跡書籍 22冊	石瀨 月 瀬寺	昭和 29.12.10	村	3	無形	和納三社神社祭礼様式(除霊)保存	和納三社神社祭礼保存会	昭和 43.9.12
	2	天然	間瀬 枕状溶岩	間瀬 岩 室 村	36. 3.20		4	天然	ばしくるもんさつぼく	間瀬 岩 室 村	47.2.26
	3	有形	種月寺本堂	石瀨 月 瀬寺	61. 3.28		5	史跡	間瀬銅山跡	間瀬 ...	49.6. 1
村	1	史跡	天神山城址	岩室・石瀨大字岩室外	43. 9.12		6	無形	和納三社神社祭礼仕掛花火・草花火	和納三社神社祭礼保存会	50.2.22
	2	史跡	松嵩城址	岩 大 字 岩 室 外	43. 9.12						

●種別…有形=有形文化財(書跡・建造物) 天然=天然記念物 史跡=記念物史跡 無形=無形文化財(郷土芸能)



これまで、県指定の建造物文化財は大半が室町期までの古いものに限定されてきましたが、県教育委員会では五十八、五十九年度に県内二千四百七十六の近世社寺を調査(本村では種月寺と和納八幡神社本殿を推薦)、この中か

今回県教育委員会から指定を受けたのは、種月寺本堂をはじめ浄念寺本堂(村上市町)諏訪神社本殿(味方村味方)八幡宮神社本殿(中瀬村松町矢津)物部神社本殿(刈羽西山町二田)石井神社本殿(柏崎市北条)雲洞庵本堂(南魚沼市雲洞)木崎神社本殿(佐渡小水町小水)の八件で、いずれも室町期以降の近世社寺として知られています。



【種月寺】 ☎ 0256-82-2601
岩室村大字石瀨3356 (新潟交通・種月寺前)